

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年2月22日

公表: 令和5年3月25日

事業所名 放課後等デイサービス にじいろLABO

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2	その日の活動に応じて部屋のレイアウトを変更する工夫をしています。	
	2	職員の配置数は適切である	6	1		個別活動がある際には、支援の方法等を工夫し、偏りをなくしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	6		事業所が2階に位置するため、階段歩行する場合は手をつなぐなど安全確保に留意したサポートを行います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	ミーティング時などのように活動を行っていくか話し合い、振り返りもおこなっています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		年度に1回保護者の皆さま向けの評価表の実施をしています。保護者の皆さまとの関係を密にして、お考え等を理解し、支援の中に取り入れてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	ホームページにより適切に公表しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	ZOOM研修や講師を招いての研修を行っています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	社会生活能力検査やISSP検査を用いてアセスメントを行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	運動、工作、料理系等、様々な分野の活動を折りまぜ、利用者が多様な経験ができる環境設定を行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		来所時に利用者が活動内容を把握できるように細かく時間を決め、スケジュールを表記しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		

児 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0		打合せについて、全職員で行えない場合は少人数で複数回行ったり、ノートなどを活用し、周知すべきことを伝えて職員の認識を一にしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		送迎後に時間が確保できない場合は、翌日のミーティングでは必ず共有し、どのような対策をしていくか話し合っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	終業後にサービス提供記録を作成し、翌日に内容を確認し、支援等の改善に努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	3		現在は在籍者がいません。今後必要な児童が在籍する場合は対策を行っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		「引き継ぎ書」などを利用して情報の共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		卒業し、福祉サービス事業所へ移行した事例が発生しておりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	外部から講師を招いての研修等行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1		SDGs活動の一環として、フードパントリーの活動を通じて交流の機会を増やしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1		同上。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		サービス提供記録を通して、保護者の皆さまへお子様の活動の様子を伝えていきます。家庭での状況を知らせてくださる保護者も増えてきたので更に相互に連携を図ってまいります。

保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2		保護者の皆さまとの面談の際に事業所での活動を報告し、必要に応じて助言を行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0		令和5年3月9日に(木)に実施を予定しています。(※令和5年2月21日(木)に記載)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		迅速かつ丁寧な対応を心掛けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		公式LINEを活用し、活動内容を定期的に配信しています。
	35	個人情報に十分注意している	7	0		配布物の入れ間違いがないようにダブルチェックを行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1		SDGs活動の一環として、フードパントリーの活動を通じて交流の機会を増やしていきます。
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2	
39		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0		法定訓練を適切に実施しています。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0		虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を設置し、研修を行っています。
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0		
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		おやつを準備する場所にメモ書きを貼って、特設の配慮をしています。
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0		ヒヤリハット発生時は書類を作成し、共有をしています。